

(2)まとめ

実験結果から、海コントラーラのトラクタ駆動軸重について以下のことが明らかとなった。

- ・ 駆動軸の動的軸重は、著しい段差等の特異な路面性状部を通過する場合にはその値が顕著に大きくなる。特異な路面性状部を除くと、駆動軸の動的軸重のばらつきはエアサス搭載のものがリーフサス搭載のものに比べて小さくなる。
- ・ 一般的な性状の路面区間を走行する場合、フル積載状態の海コントラーラで駆動軸にエアサスを搭載したものの駆動軸重（静的軸重 11.5 トン）の動的軸重最大値は、減載により駆動軸重を 10.0 トンとしたリーフサス搭載車両の駆動軸による動的軸重最大値と同程度である。（図-2.3.32 参照）
- ・ 走行中の海コントラーラの駆動軸の動的軸重の変動は、車両のバネ上振動モードに対応する周波数成分が卓越する振動特性を示し、実測される軸重応答スペクトル分布は、車両の振動特性と路面凹凸の空間周波数特性との組合せから解析的に推定される軸重応答スペクトル分布とよい一致を示す。